



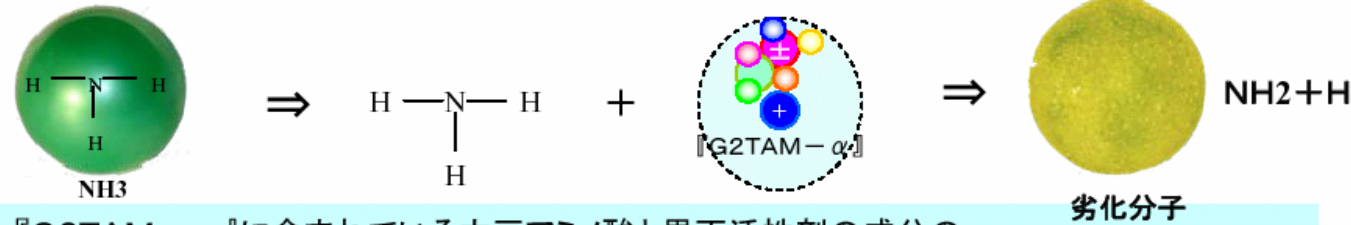


それぞれの消臭方式による消臭方法の仕組みについて解説します。

* 作用イメージ

<p>マスク方式</p> 	<p>特徴) いい匂いの香り分子を悪臭を感じさせなくするまでたくさんばらまくことで悪臭分子の臭いをわからなくする方法。 非常に安価な商品が多い。 デメリット) 基本的に悪臭分子がなくなるので後から臭いがよみがえってきます。</p> 
<p>吸着方式</p> 	<p>特徴) アルカリイオン水などの様に悪臭分子を吸着し、空気中の悪臭分子の数を減らしてしまう方法。 デメリット) アルカリイオン水: 空気中の悪臭分子がなくなるので乾くと臭いがよみがえってきます。 炭等: 吸着する穴が埋まって行くので吸着できなくなると後は臭いを処理できなくなるのです。</p> 
<p>酸化分解方式</p> 	<p>特徴) 酸化剤により悪臭分子を分解してしまう方法。 デメリット) 臭い分子を酸化破壊しますので効果が望めますが、持続させる事が難しく、また、塩素臭などの薬品臭が残ります。素材を痛めることがあります。長時間用にゲル状のものもありますが即効性と作業性に欠けています。</p> 
<p>他社の天然成分吸着浸透方式</p> 	<p>特徴) 植物や穀物からの抽出液を中心に除菌成分と消臭成分が布地等に浸透し水分の気散に伴い効果を発揮する方法。 デメリット) 浸透性のある天然成分が作用するため効果が望めますが、幅広い臭いに対して効果を発揮することが困難なため 酸性、あるいはアルカリ性などの単一の臭いに対して効果を発揮させる要素を持っています。したがって臭いの種類に応じてそれぞれの消臭剤を用意する必要があります。</p> 
<p>『G2TAM-α』のハイブリッド方式</p> 	<p>特徴) 天然成分の効果により悪臭分子の構造を変えて分解劣化させてしまう方法。 天然成分の浸透性や分子構造を変化させることにより臭い分子を破壊しますので臭いがよみがえる事もありません。 また、天然成分による抗菌作用と界面活性剤の作用促進と相乗効果により安全性が得られています。 デメリット) 少し割高感があります。でも、とてもいい仕事をします。</p> 

ココに注目!



『G2TAM-α』に含まれている大豆アミノ酸と界面活性剤の成分の相乗効果による反応で5つの効果を発揮します。

【5つの効果～大豆の力】

- 1.酸化・還元..... 化学反応や付加反応により酸化反応を起こします。
- 2.分解..... プラスイオンが臭気のマイナスイオンとくっついて全く異なる物質に変えイオン結合し光や熱によって炭酸ガスや水に分解し塩を形成する消臭メカニズム。
- 3.化学反応..... 大豆アミノ酸に含まれる大豆ペプチドやイソフラボン等による化学反応。
- 4.マスクング..... 大豆アミノ酸に含まれるイソフラボン等によるマスクング効果。
- 5.相殺作用..... 大豆アミノ酸や大豆レシチン(両性界面活性剤)による相殺作用。

